追加機能一覧

ファームウェアV1.10より、次の機能が追加されました。

- 環境設定（PREFERENCE）の新項目
  - ピークホールド機能
  - オートパワーセーブ機能
- トラックエディットのサブフレーム対応
- サンプリングレートコンバート機能
- ノイズシェーパー（ノイズシェイプドディザリング）を確認する
- ノイズシェーパー（ノイズシェイプドディザリング）を使用する

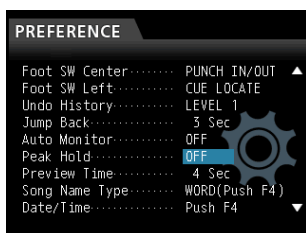
環境設定（PREFERENCE）機能の新項目

"PREFERENCE" 画面で設定できる項目に、以下の機能の項目が追加されました。（→ 取扱説明書の第11章「環境設定（PREFERENCE)」）

- ピークホールド機能（**"Peak Hold"**）
- オートパワーセーブ機能（**"Auto Power Save"**）

ピークホールド機能

ピークホールド機能を使って、ホーム画面などに表示されるレベルメーターのピークホールド表示モードを設定します。

CURSOR（▲ ／ ▼）ボタンを使って **"Peak Hold"** 項目を選択（背景青色）し、JOG/DATAダイヤルでピークホールドの表示モードを設定します。

選択肢と初期値は、以下の通りです。

選択肢	内容
OFF（初期値）	ピーク値を表示しません。
1Sec	ピーク値を約1秒間表示します。
KEEP	ピーク値の表示を保持し続けます。 本機のレコーダーモードが **"Mastering"** モード以外では、F3 **"[PEAK CLEAR]"** ボタンを押すとピーク値がクリアされます。 **"Mastering"** モードでは、ロケートを行うとピーク値がクリアされます。

メモ

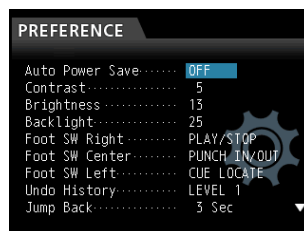
- メーターをずっと監視し続けることができない場合（演奏しながら録音する場合など）には、「これまでの」最大値を教えてくれる **"KEEP"** 設定が便利です。
- CD再生時のピーク値のクリアは、F1 **"[PEAK CLEAR]"** ボタンで行います。

オートパワーセーブ機能

V1.10より、欧州待機時電力規制（ErP）対応のためのオートパワーセーブ機能が追加になりました。

初期設定では、オートパワーセーブ機能の設定が30分となっており、無操作などの状態で30分経過すると自動的にオフ（スタンバイ状態）となります。

オートパワーセーブ機能の設定を変更したい場合は、以下の内容を参照してください。

CURSOR（▲ ／ ▼）ボタンを使って **"Auto Power Save"** 項目を選択(背景青色)し、JOG/DATAダイヤルで電源がオフ（スタンバイ状態）になるまでの時間を設定します。

選択肢と初期値は、以下の通りです。

選択肢："OFF"、"3Min"、"5Min"、"10Min"、"30Min"（初期値）

メモ

以下の場合には、オートパワーセーブ機能は働きません。

- 録音中、再生中
- メトロノーム動作中
- レコードファンクションがオン状態
- STEREO OUT端子から信号が出力されている状態

トラックエディットのサブフレーム対応

ホーム画面からJOG PLAYボタンを押してサーチモードにすると、タイムカウンター表示にサブフレーム（1/10フレーム）が表示されます。

横方向（時間方向）の拡大を最も大きくするとJOGダイヤルを回した時にサブフレーム（1/10フレーム）単位で移動する事が出来ます。

INポイントとOUTポイントもサブフレーム単位で設定することができ、サブフレーム精度でトラックエディットすることができます。

サンプリングレートコンバート機能

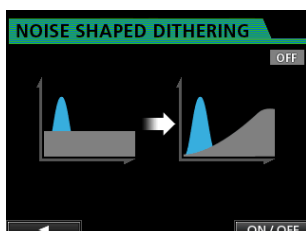
オーディオCDは、16bit、44.1kHzです。

それ以外の組み合わせに設定されたソングの場合は、自動的に16bit、44.1kHzに変換（サンプリングレートコンバート）してオーディオCDを作成します。

ただし、元のマスターファイルは変換されません。

ノイズシェーパー（ノイズシェイプドディザリング）を確認する

ファームウェアV1.10より、マスタリングの際のノイズシェーパー機能が、マスターファイルへの反映でなく、ノノイズシェーパーを使用してオーディオCDを作成したときの効果を前もって確認する機能に変わりました（ → 取扱説明書の第10章「ノイズシェーパー（ノイズシェイプドディザリング）を使う」)。

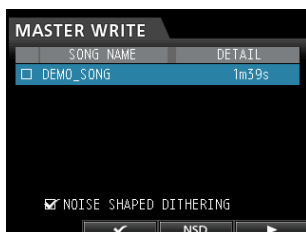
1. **“Mastering”**画面を表示中に、**F3 “[NSD]”**ボタンを押して、**“NOISE SHAPED DITHERING”**画面を表示します。

2. **F4 “[ON/OFF]”**ボタンを押して、ノイズシェーパーを**“ON”**にします。

3. **F1 “[◀]”**ボタンを押して、**“Mastering”**画面に戻ります。

メモ

“Mastering”画面でノイズシェーパーを**“ON”**にしてもマスターファイルには反映されません。また、16ビットのソングでは、ノイズシェーパーを**“ON”**にしても効果はありません。

ノイズシェーパー（ノイズシェイプドディザリング）を使用する

ファームウェアV1.10より、**“MASTER WRITE”**画面と**“LIVE WRITER”**画面の中にノイズシェーパーボタンが追加されました。24ビットのソングで作成されたマスターファイルからオーディオCDを作成するとき、ノイズシェーパーを使用することができます。ノイズシェーパーを使用する場合は、**“CD”**メニュー画面の中から**“MASTER WRITE”**項目を選択し、**“MASTER WRITE”**画面においてF3 **“[NSD]”**ボタンを押してください。

メモ

ノイズシェーパーは、CDに書き込まれる全てのソングに共通に設定されます。
ただし、16ビットのソングに対しては効果がありません。また、ノイズシェーパーはオーディオCDにのみ反映される効果であり、マスターファイルには反映されません。

Printed in China